

塩田地域協議会からの意見書に対する回答

意見 1 について（都市計画課）

都市計画マスタープランの地域別構想の策定にあたりましては、塩田地域協議会の皆様から将来のまちづくりに対する貴重な御意見をいただき感謝申し上げます。

無秩序な開発行為の抑制については、山並みや田園風景、別所線や歴史的文化遺産を保全し、後世に残していきたいなどの地域の皆様の想いを大切に、地域住民の皆様と協議しながら、土地利用の規制・誘導や景観形成方策に関する都市計画制度等の活用等を検討していきたいと考えております。

また、市では平成 19 から 20 年度にかけて景観の保全と育成のあり方を示す「上田市景観計画」を取りまとめております。塩田地域は、里山やため池などからなる田園風景と周囲の山並み、歴史的文化的遺産が一体となって、独特の歴史的風土が形成されていることが特徴といえますので、都市計画マスタープランの地域別構想に示される方針を尊重しながら、計画策定を進めていきたいと考えております。

意見 2 について

（土地改良課）

農業用施設としてのため池は、長い歴史の中で地域に定着し、多くの恵みをもたらしてきました。特に塩田地域は、寡雨地帯のためその果たしてきた役割は大きく、地域住民のため池に対する思い入れも深く、このようなため池は、塩田地域の歴史を知る上でも、田園空間の景観に果たす役割も大きいので、今後も保全や活用のあり方などを、地域住民の皆様と検討したいと考えております。また、ため池を、広く内外に周知するイベント等の活動も大切なことと考えておりますが、地元の皆様の関心や盛り上がりも欠かせません。

そこで、「全国ため池サミット」の開催につきましましては、過去の開催状況や開催機関などを調査し、研究してまいりたいと考えております。

（観光課）

ため池は、農業用水の確保はもちろん、貴重な生物の生息の場として、田園風景や周囲の山並みに溶け込み、人々の心を癒してくれる貴重な観光資源でもあります。

この美しいため池が形成する景観を、人々の生活を支えてきた歴史の物語とともに観光客に提供することができれば、塩田地域はさらに魅力的な観光地になっていくものと思われま。

塩田地域協議会の皆さまが、ため池に焦点をあてて地域の自然環境や景観の保全について検討をされてきたことは、大変貴重な取り組みであると認識しており、今後の塩田地域の皆さまの取り組みに大いに期待しているところです。

この春に策定いたしました信州上田観光ビジョンにおいて、塩田地域は、「ローカル線で味わう田園エリア」と位置づけられております。ため池の有効活用策については、地域の将来的な課題として行政の支援方法も含め、地域の皆さんとともに検討してまいりたいと考えております。

回答書

塩田地域協議会におかれましては、上田市の地域内分権を推進するための地域協議会の今後のあり方について、熱心に御議論され、このたび御提言を賜り心より感謝申し上げます。

新生上田市は、分権型合併により誕生し、地域自治センターと地域協議会を地域内分権推進の核となる組織として成立したわけであります。

自治会連合会、地区自治会連合会の組織と活動等を含め、住民の自主的な自治組織である単位自治会の活動等は、地域協議会とともに、他の市町村に誇れる上田市としての自治の特徴であり、地域内分権を推進するための中心となるものと考えております。

御提言の地域協議会と自治会連合会との連携につきましては、市といたしましても、地域課題の解決につながる意見交換の場として、また、地域の課題を再認識する機会として、大変重要なものと捉えております。

これにより、地域協議会として地域の多様な意見集約が可能となり、今後、地域住民も含めた意見交換、懇談を深めていくべきものと考えておりますが、地域協議会の役割や活動を知らせる機会とも捉え、地域（各地域協議会）により、効果的・効率的な方法は様々でありますので、各地域協議会としての意向を尊重しながら、可能な限り御支援してまいりたいと考えております。

また、全地域協議会委員を対象とした研修会の開催につきましては、平成20年4月からの第二期地域協議会任期中に2回ほど計画してまいりたいと考えておりますが、研修のテーマ等も含め、各地域協議会の意向を確認しながら開催してまいります。